



ウチエのシャワー車椅子

ハイモア

自走用シャワー車椅子 **ご使用のしおり**

品番: HM300

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『ハイモア』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- ・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ・本書は必ず保管しておいてください。
- ・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡してください。
- ・お買い上げのシャワー車椅子は改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

■各部名称



■付属品

- ・ご使用のしおり(本書)
- ・六角レンチ(二面幅5mm)



※別売品でシートベルト(フリータイプ)がございます。詳しくはカタログをご覧ください。販売店、または弊社までご連絡ください。

仕様

材質	・本体/アルミニウム合金、ステンレス、合成樹脂成形品 ・グリップ/PVC ・バックサポート、座シート、サイドガード/PVCコーティングポリエステル メッシュ ・クッション(アームサポート、前方グリップ)/合成ゴム、PVC ・レッグサポート/ナイロン ・タイヤ(キャスタ、駆動輪)/PU(発泡) ・ハンドリム/ナイロン
重量	約13kg
車輪径	キャスタ/6インチ ・駆動輪/20インチ

サイズ

単位:cm

全幅	61(34.5)	前座高	45
全長	100(86.5)	後座高	42.5
全高	85(85)	バックサポート高	40
座幅(肘~肘)	43.5	前座から足台	36.5/39/ 41.5/44
シート奥行	42		
肘から前座	30		

※()は折りたたみ時

■ご使用にあたって

- ・室内専用です。屋外では使用しないでください。
- ・シャワー浴用に設計されています。浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。腐食による破損、けがの原因となります。
- ・硫黄系の入浴剤や温泉をかけての使用はしないでください。温泉の泉質によっては塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがの原因となります。
- ・入浴剤入りのお湯をかけると、車輪の回転などの動きが悪くなる可能性があります。
- ・強い衝撃を与えると、塗装がはがれますのでご注意ください。
- ・使用前に点検を実施し、異常がないか確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

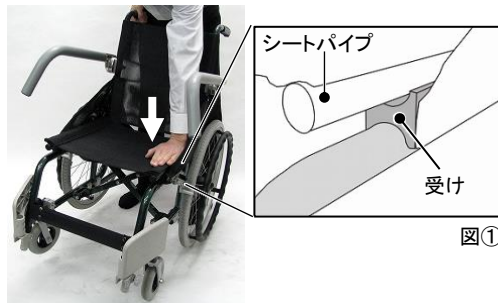
■開き方

※駐車用ブレーキを掛けてから操作してください。

1. 車椅子の後ろからグリップをもって左右に開きます。(写真①)
2. 片側の駆動輪を少し浮かせながら反対側(浮かせていない側)のシートパイプを手でゆっくり押し開きます。(写真②) シートパイプが受け側にあるか確認してください。(図①)

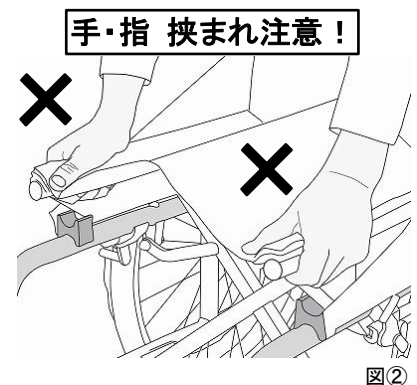


写真①



図①

写真②



図②

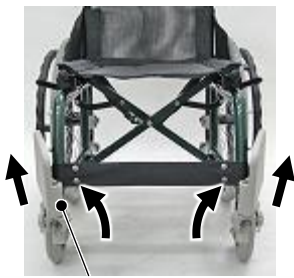
⚠ 注意

- ※シートパイプの横や下に手や指を入れないでください。手や指をはさんでけがをするおそがあります。(図②)
- ※平坦な場所で作業を行ってください。不意に本体が動くおそがあります。

■折りたたみの仕方

※駐車用ブレーキを掛けてから操作してください。

- 1.フットサポートを両側ともはね上げ、後方に回転させます。(写真①)
- 2.前方グリップを外側に回転させます。(写真②)
- 3.座シートの前後中央を同時に持ち上げます。(写真③)
- 4.両側のグリップを持ち、内側に寄せて折りたたみます。(写真④)



フットサポート 写真①



写真②



写真③



写真④

⚠注意

※ゆっくり折りたたんでください。勢いよくたたむとアームサポートにはさまれるおそれがあります。
※平坦な場所で作業を行ってください。不意に本体が動くおそれがあります。

■駐車用ブレーキの掛け方・戻し方

- ・ブレーキレバーを前方(キャスタ側)に倒すと駆動輪がロック(固定)します。
- ・ブレーキレバーを後方(駆動輪側)に倒すとロックが解除します。

⚠注意

※駐車用ブレーキは必ず両側ともしっかり掛けてください。片側のみだと動きます。

※介助者が車椅子より離れる場合は、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。

※移乗、停車、入浴する際は必ず駐車用ブレーキを掛けてください。

不意に本体が動き、転倒、けがをされるおそれがあります。

※駐車用ブレーキを掛けていても本体に強い力が加わったり、駆動輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。

※傾斜のある場所で駐車しないでください。動くおそれがあります。

※ブレーキレバーを強い力で操作しないでください。レバーやブレーキ部品が破損するおそれがあります。

※ブレーキレバーを可動方向以外に操作しないでください。破損するおそれがあります。

※駐車用ブレーキの利き具合が悪い場合はすぐに使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。



■前方グリップの取り扱い方

ご利用の際に握り、安心、安全です。

●前方グリップを開く場合

前方グリップを外側に回転させると開きます。(写真①)

移乗時や体を洗う際にご使用ください。

●前方グリップを閉じる場合

前方グリップを内側に回転させると閉じます。(写真②)

走行中や乗車中に握ってご使用ください。



写真①



写真②

⚠注意

※立ち座りの際は次の事に注意してください。

・肘掛けを内側や外側に回転させるような使用はせず、肘掛けを垂直に押すように使用してください。不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをされるおそれがあります。

・前方グリップの片側だけに荷重を掛けたり、前方グリップを手すり代わりにして横方向に力を掛けないでください。また、前方グリップに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをされるおそれがあります。

※使用者が前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをされるおそれがあります。

※前方グリップを閉じたまま立ち上がらないでください。

※乗車中は前方グリップを閉じて使用してください。

※乗車中は前方グリップを持った状態で前のめりにならないでください。バランスを崩し、転倒の原因となります。

※前方グリップを無理に引っ張ったり押さないでください。クッションが破損するおそれがあります。

※使用者を乗せたまま前方グリップを持って移動したり、前方グリップをハンドル代わりにして本体を操作しないでください。

■アームサポートの取り扱い方

アームサポートは左右ともはね上げ式になっております。

⚠️注意

※乗車中は必ず前方グリップを外側に開いてからはね上げ、下ろす操作をしてください。

前方グリップを閉じたままはね上げ、下ろす操作をすると使用者に前方グリップが当たります。

※アームサポートをはね上げ、下ろす際に手や指をはさまないように注意してください。

※はね上げたアームサポートを押したり、力を掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※乗車中は必ずアームサポートを下ろして使用してください。

※途中まではね上げたアームサポートは後方へ回転します。寄りかからないでください。

破損、転倒、けがをするおそれがあります。

※アームサポートを持って本体を持ち上げないでください。不意にアームサポートがはね上がり、けがをするおそれがあります。

※アームサポートに腰掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



■フットサポートのはね上げ方

フットサポートは横にはね上げ、後方に回転させる事ができます。

移乗の際にじゃまになりません。

⚠️注意

※乗り降りされる際は、必ずフットサポートをはね上げてください。

フットサポートの上ののって乗り降りすると、転倒、破損の原因となります。

※フットサポート高さ 36.5cm(出荷時)以外の高さで使用する際は、フットサポートを後方に回転させたまま車椅子を走行させないでください。フットサポートがキャストに干渉し、破損するおそれがあります。



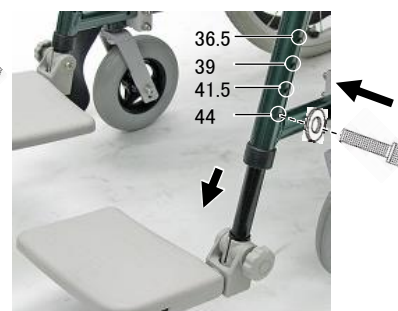
■フットサポートの高さ調整の仕方

・フットサポートは 36.5(出荷時)、39、41.5、44cm の 2.5cm刻み4段階の高さ調整ができます。利用される方のお体に合わせてご利用いただけます。

1. 付属のL型レンチでボルトをゆるめて外し、座金を取り外します。(写真①)
2. フットサポートを使用する高さ調整し、外側から座金をつけたボルトを通して付属のL型レンチでしっかり締めてください。(写真②)



写真①



写真②

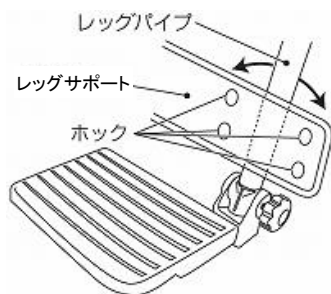
⚠️注意

※左右同じ高さに調節し、ボルトをしっかり締めてから使用してください

■レッグサポートの取り扱い方

・レッグサポートは取り外し可能です。ご使用方法に合わせて着脱してください。(図①)

・左右のホックを外すと取り外せます。取り付けの際は左右同じ位置でパイプに巻き、ホックで留めてください。



図①



写真①



写真②

⚠️注意

※フットサポート高さが 36.5、39cm の時はボルトの下に(写真①)、41.5、44cm の時はボルトの上に(写真②)レッグサポートを取り付けてください。

■段差超えの仕方

1. ティッピングレバーに足を当てて押し出すと同時にハンドルを手前に引き寄せ、前輪を浮かせます。(写真①)
 2. 前輪を段差に乗せて駆動輪(後輪)が段差に当たるまで進み、ハンドルを押し上げて段差を超えます。(写真②③)
- ・段差から下りる際は後ろ向きでゆっくり駆動輪(後輪)を下ろして進み、ティッピングレバーを踏んで車椅子を支えながら、ゆっくり前輪を下ろしてください。



ティッピングレバー



写真①



写真②



写真③

⚠ 注意

- ※前輪上げや段差超え、段差から下りる際はゆっくり行い、転倒、転落に注意してください。
- ※10cmを超える段差では使用しないでください。
- ※無理な力で前輪を上げないでください。フレームが破損するおそれがあります。

■駆動輪の操作(自走)の仕方

1. 駐車用ブレーキを解除します。
2. 使用者がハンドリムを握り、車輪を回転させ移動します。

⚠ 注意

- ※タイヤを持って車椅子を操作しないでください。手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。
- ※駆動輪が回転している際に、スポークに手や指を入れないでください。はさんでけがをするおそれがあります。
- ※速度が出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。手や指をはさんだり、摩擦でけがをするおそれがあります。
- ※走行中に身体を乗り出さないでください。バランスを崩し、転倒、転落するおそれがあります。



ハンドリム

■お手入れの方法

- ・ご使用後は石けんやシャンプー、入浴剤などを洗い流してください。汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませたやわらかいスポンジや布で拭き、その後やわらかい布などで乾拭きしてください。
- ・ご使用後は乾いた布で水分を拭き取るか、日陰の通気性の良い場所で乾かすなど、水分を残さないでください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。また、使用時に滑ってけがをするおそれがあります。
- ・車輪にほこりが付着するときはむしりがあります。その際は、シンナーを少量注油してください。むやみに注油されますとほこりが付きやすくなり、汚れますのでご注意ください。
- ・座シートやバックサポート、サイドガード、クッション(アームサポート、前方グリップ)、グリップ、キャスタや駆動輪などは消耗品です。汚れたり破損した場合はお早めに交換してください。

⚠ 注意

- ※ご使用後は必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ※お手入れをされていても、カビが発生する場合があります。
- ※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、アルコール、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。
- ※熱湯をかけたり、オゾン洗浄・消毒はしないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※アイロン、乾燥機の使用はおやめください。

■点検の実施

安心、安全にお使いいただくため、使用前に点検を実施してください。

点検項目	対処
フレームにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスタや駆動輪にひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
キャスタや駆動輪が摩耗していませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
走行操作はラクにできますか？	キャスタ、駆動輪に髪の毛などが巻きついている場合は、取り除いてください。
駐車用ブレーキが両側しっかりかかりますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
バックサポートや座シートに著しいたるみや汚れ、傷、破損などはありませんか？	著しいたるみや汚れ、傷、破損などがある場合はお買い求めの販売店までご連絡ください。
座シート両端の面ファスナーはしっかり接着されていますか？	面ファスナーに付いた糸くずや汚れは取り除いてください。粘着力が弱い場合は座シートを交換してください。
アームサポートのはね上げや前方グリップの回転はラクにできますか？	はね上げや回転がしにくいなどの異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
クッション(アームサポート、前方グリップ)にキズや汚れはありませんか？	損傷が激しい場合はお買い求めの上、交換してください。
フットサポートにひび割れや変形、がたつきなどの異常はありませんか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
ねじはゆるんでいませんか？	ゆるんだねじを締めてください。ねじが締まらないなど異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。
折りたたみはラクにできますか？	異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

⚠️注意

※車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店までご連絡ください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

⚠️安全上の注意事項

使用上のご注意 安全のため必ずお守りください

- 本製品は全介助が必要な方を対象にした商品です。使用する際は必ず介助者が付き添い、介助者が操作してください。
- 本製品は室内専用です。屋外では使用しないでください。
- 本製品は1人用です。2人以上で使用しないでください。
- 本製品を浴槽に沈めての使用(中間浴)はしないでください。
- 温泉水や硫黄系の入浴剤をかけての使用はしないでください。塗装がはがれたり、樹脂の劣化や金属部の腐食が発生し、破損、けがをすることがあります。
- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や分解が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 10cmを超える段差では使用しないでください。
- バックサポートパイプのみで前輪上げをしないでください。パイプが曲がったり、折れたりするおそれがあります。
- 勢いをつけて段差を乗り越えないでください。破損したり、使用者が車椅子から転倒・転落し、けがをすることがあります。
- 段差を乗り越える際に、キャスタがまっすぐになっていることを確認してください。ななめや横になった状態で乗り越えると、キャスタの破損や事故の原因となるおそれがあり、大変危険です。
- 使用者が車椅子に乗っている状態でグリップを持って車椅子を持ち上げないでください。パイプが破損したり、使用者が転倒、転落、けがをすることがあります。
- 故障の原因となりますので、次のところに放置しないでください。
 - ・戸外 ・雨に濡れるようなところ ・直射日光のあたる場所 ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・潮風の当たるところ ・ストーブなど火気の近く ・高温多湿、低温な場所 ・風通しの悪い場所
- 車椅子を開く際はシートパイプの横や下に手や指を入れしないでください。はさんでけがをすることがあります。
- 車いすを開いた際は、シートパイプが受け側にあるか確認してください。
- P タイル、フローリングなど、硬質な滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 駐車用ブレーキは必ず両側ともしっかり掛けてください。片側だけだと動きます。

！ 安全上の注意事項

使用上のご注意 安全のため必ずお守りください

- 駐車用ブレーキを掛けると駆動輪がしっかり固定されるか確認してください。ブレーキの利きが悪いと不意に動き、大変危険です。
- 駐車用ブレーキを掛けていても本体に強い力が加わったり、駆動輪と床との相性で本体が動く場合がありますので注意してください。
- 移乗、停車、入浴する際は、必ず駐車用ブレーキを掛けてください。不意に本体が動き、転倒、けがをすることがあります。
- グリップ、ハンドリム以外を持って車椅子を操作しないでください。手や指をはさんでけがをすることがあります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。手にけがをすることがあります。
- 駆動輪が回転している際は、スポークに手や指を入れないでください。けがをすることがあります。
- 駆動輪やハンドリムなどのすきまに手や指を入れないでください。はさんでけがをすることがあります。
- 足こぎで使用の際は足元に十分注意してください。キャストが足にあたりケガや転倒することがあります。
- 石鹸やシャンプーを使用した床面や濡れている床面では、駐車用ブレーキを掛けても本体が動く場合があります。
- 石鹸やシャンプーを使用した際は、必ず洗い流してからお乗りください。滑って転倒、けがをすることがあります。
- 本体を持ち上げる際に、グリップ、アームサポート、前方グリップ、ブレーキレバー、フットレスト、レッグサポートなどを持たないでください。
- アームサポートを持って車椅子を持ち上げないでください。不意にアームサポートがはね上がり、けがをすることがあります。
- 持ち運ぶ際はベースフレーム以外を持たないでください。破損のおそれがあります。
- グリップやアームサポート、前方グリップ、フットサポート、ブレーキレバーなどに重いものを引っ掛けしないでください。破損、転倒するおそれがあります。
- バックサポートや座シートを取り外して使用しないでください。転倒、けがをすることがあります。
- 乗り降りされる際は次のことに注意してください。破損、転倒、けがをすることがあります。
 - ・必ず駐車用ブレーキを掛け、座シートの位置をたしかめてお座りください。
 - ・座面の前縁部に荷重を掛けたり、座らないでください。転倒してけがをすることがあります。
 - ・前方グリップを水平にしたまま乗り降りしないでください。
 - ・アームサポートや前方グリップ、座面の片側だけに手をついたり、アームサポートや前方グリップを手すり代わりにして横方向に力を掛けしないでください。
 - ・肘掛けを垂直に押すように使用してください。肘掛けを内側や外側にねじると不意に肘掛けが回転し、転倒、けがをすることがあります。
 - ・必ずフットサポートをはね上げてください。フットサポートの上ののって乗り降りしないでください。
 - ・平坦な場所で行ってください。傾斜のある場所では乗り降りしないでください。
 - ・勢いよく座らないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
 - ・介助者が使用者をしっかり支えてください。
- フットサポートの上立たないでください。破損、転倒、けがをすることがあります。
- 傾斜のある場所では駐車しないでください。駐車用ブレーキを掛けても動く場合があります。
- ブレーキレバーを必要以上の力で操作したり、無理やり操作しないでください。ブレーキ部品が変形、破損するおそれがあります。
- 車椅子に乗った状態で身体を横方向に大きく傾けるなど、片側のみに体重を掛けしないでください。また、走行中に身体を乗り出さないでください。転倒するおそれがあります。
- 走行中はフットサポートに足を必ず乗せてください。けがをすることがあります。
- 急に止まらないでください。使用者が転倒、転落し、けがをすることがあります。
- アームサポートや前方グリップ、背もたれをななめや他方向から押さないでください。転倒、けがをすることがあります。
- 片側だけに無理な荷重を掛けしないでください。破損、転倒、けがのおそれがあります。
- アームサポートをはね上げて横移乗した後等の使用時には、必ずアームサポートを水平に戻してください。はね上げたまま使用すると、本体から転落、けがをすることがあります。
- 座シートは、交換時以外は取り外さないでください。
- 座シート両側の面ファスナーはしっかり固定してください。ねじに衣服を引っ掛けたり、けがをすることがあります。
- サイドガードはしっかり固定してください。サイドガードが外れるとサイドガードや衣服が車輪に巻き込まれるおそれがあります。
- 面ファスナーに付いた糸くずや汚れは取り除いてください。粘着力が弱まり、外れやすくなります。
- アームサポートや前方グリップの上など座シート以外に腰掛けたり、座シートの前縁部に腰掛けしないでください。破損や転倒してけがをすることがあります。
- 駐車用ブレーキを掛けたまま押さないでください。破損、故障するおそれがあります。
- 使用者がグリップやアームサポート、前方グリップを支えにしての移動や立ち上がりはしないでください。転倒、けがをすることがあります。
- 車椅子に乗っている際に身体を強く緊張、または硬直されると、車椅子に後ろ向きの力が加わり、車椅子ごと後方や横に転倒するおそれがあります。介護される方は車椅子にお乗りの方の状態を常に見届けてください。また、座位保持が難しい方のご使用はご遠慮ください。
- 車椅子に乗った状態で前かがみになったり、車椅子に乗った状態でフットサポートに足を乗せて前かがみになるなど、車椅子前方のみに体重を掛けしないでください。駆動輪が浮き上がり、車椅子ごと前に転倒し、けがをすることがあります。前輪が後ろ向きの場合は特に注意してください。
- フットサポートの高さ調整後は、必ずボルトをしっかり締めてください。
- 本書に記載されている箇所以外の調整をしないでください。変形や破損、事故の原因となります。
- 人以外の運搬に使用したり、踏み台の代わりにして座シートの上に立つなど、本来の用途以外で使用しないでください。けがや故障の原因となります。
- ボルトやねじがゆるんでいる場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 安心、安全にお使いいただくため、使用前や定期的に点検を実施してください。車椅子に異常がある場合は使用を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。

ウチワ株式会社 サービス係

本社/大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町 2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関東営業所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台 4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福岡営業所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北 4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵庫工場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井 732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。